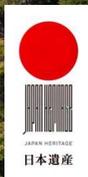


広島県尾道市



尾道市は、広島県の南東部、瀬戸内海のほぼ中央に位置する人口約12.6万人の街で、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成27年3月に全線開通した中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）により、広域拠点としての機能は高まり、まさに「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待されています。

平成27年4月には、文化庁が創設した制度である日本遺産に認定されました。認定されたストーリーは、「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」というタイトルで、坂道と路地の景観を含む21の文化財で構成されています。

日本遺産の認定エリアの中心にある山手地区は、尾道三山の山麓2kmにわたり、国宝や重要文化財などの寺社が点在する歴史ある地区です。網の目のように張り巡らされた生活道路は、この地区の景観の一つであり、歴史的風致維持向上計画（平成24年6月認定）事業により調和のとれた景観形成が進められています。

道路沿いには、なでると願いが叶うという御袖天満宮の石牛や、横綱陣幕の回し石など、石のまち、尾道ならではのパワースポットにも出会えることができます。



御袖天満宮の石牛



千光寺公園

千光寺公園にある展望台からは、東西に延びる尾道のまちと尾道水道を一望できます。夜景100選にも選ばれている絶景です。

浄土寺



本堂



多宝塔

山手地区とその周辺の市街地においては、歴史の重層性を追体験できます。数多くの中世の建造物、近世の港湾施設や石造物、庭園、近代遺産、現代の建造物が渾然一体となって存在し、尾道らしさを表しています。山手地区の東端にある浄土寺は聖徳太子の開創と伝えられ、足利尊氏ゆかりのお寺として知られており、本堂、多宝塔は中世の歴史と文化を代表する建造物として、共に国宝に指定されています。

旧和泉家別邸 愛称 尾道ガウディハウス

西側のJR尾道駅北側、三軒家町の急斜面のわずか10坪の土地に建つ旧和泉家別邸は擬洋風木造建築で、当時流行った技法がところ狭しとちりばめられた洋館付住宅となっています。

今では「尾道ガウディハウス」の愛称が付けられ、その外観は見るほどに魅せられる昭和初期の名建築であり、平成25年12月に登録有形文化財となっています。



広島県尾道市 山手地区
JR尾道駅から徒歩で約15分

広島県尾道市 浄土寺
JR尾道駅より「東行き」バス乗車約7分、「浄土寺下バス停」下車ですぐ

広島県尾道市 旧和泉家別邸
JR尾道駅北口より徒歩で約3分